

P T Aの皆様や地域の皆様へ

帯広市小・中学校P T Aの皆様におかれましては、日頃より新型コロナウイルス感染症対策を含めた、子どもたちの安全・安心への活動にご尽力されていることに敬意を表します。また、学校において児童生徒等の学びを進めるために、P T Aの皆様や地域の皆様に多大なる御理解と御協力をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。

さて現在、帯広・十勝の感染者数は急速に増加しており、様々な取組を徹底しても、学校や家庭、社会において感染するリスクをゼロにすることはできず、子どもたちの置かれている環境の悪化や感染リスクについても心配が尽きないところです。今は「誰もが感染する可能性がある」といえる状況にあります。

私たちは、この感染症と、この感染症がもたらした社会の変化に対して、正しく向き合うことが必要です。そこで、P T Aの皆様や地域の皆様に強くお願いしたいことが二点ございます。

一点目は、「感染者に対する差別や偏見、誹謗中傷等を許さないようにしよう」ということです。

誰もがこの新型コロナウイルスに感染する可能性がある状況ですから、もし感染が発生したとしても、その児童生徒や家族、教職員、学校の対応を責めることはできません。それよりも、これをきっかけに改めて衛生管理を徹底し、更なる感染を防ぐことが大切です。

そして、「感染した個人や学校を特定して非難する」「感染者と同じ職場の人や、医療従事者などの家族が感染しているのではないかと疑い悪口を言う」など、差別等につながる発言や行動が身の周りでみられたときには、それに同調することなく「そんなことはやめよう」と声をあげていただきたいと思います。

ネット掲示板やSNSにおいては、特にご配慮をいただきたいと思います。ネット掲示板やSNSには、子どもたちによる書き込みが多いのも事実ですが、子どもたちが大人の会話を意味もわからず鵜呑みにしたり、誇張したりして書き込む恐れもあります。不確かな情報の扱いにくれぐれもご注意ください、時にはあえて耳を貸さずにいることも必要かと思えます。

感染を責める雰囲気が広がりますと、感染した人や家族がそのことを隠したりすることにもつながりかねず、帯広・十勝での感染が拡大していく危険性もあります。新型コロナウイルス感染拡大を一刻も早く収束させるためには、地域ぐるみでこの未知のウイルスに正しく向き合い、できることを確実に実行していくことが大切なのです。

二点目は、「学校の感染症対策と教育活動・P T A活動の両立に協力しよう」ということです。

感染症への対応が長期にわたることが想定される中、学校では、感染症対策と学校ならではの学びを両立させながら教育活動を進め、健やかな学びを保障するための最大限の取組を進めていただいているところです。子どもたちが、確かな力を身に付けていくことができるよう、私たち帯広市小・中学校のP T Aも、学校の応援団として惜しまず協力していきましょう。差別や偏見、誹謗中傷を許さず、安心して生活できる学びの場づくりに協力しましょう。

今こそ私たち大人たちが立ち上がり、学校・保護者・地域が連携し協力して、子どもたちが健やかに育っていきける環境をつくっていきましょう。

令和二年十一月

帯広市P T A連合会 会長 谷保 寿彦
帯広市立栄学校P T A 会長 長利 孝久